

キャラクター名  
榊橙也

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	FHチルドレンB	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	16	性別	♂
覚醒	犠牲	衝動	殺戮	初期侵食率	37%	
出自	貧乏	経験	喪失	邂逅	欲望：消滅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1		0			1	行動値	24
感覚	5	1	3			9	(非装備時)	24
精神	1		0			1	戦闘移動	29
社会	1		0			1	全力移動	58

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	6		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：FH	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ストライクチップ	射撃	9r+6		7		マイナーで使用することでメインプロセスの間、この武器による射撃攻撃の判定ダイス+2個(エフェクト必須)
		0				
天使の詩<エンジェリックラプソディ>	射撃	13r+6		7+1D10		【コスト7】眼Lv3+ペネ+コンセLv2
天使の詩<エンジェリックラプソディ>100%~	射撃	17r+6		7+1D10		【コスト7】眼Lv4+ペネ+コンセLv3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：噂好きの友人	
コネ：情報屋	
青い髪の少女について(解放)	
ポルトアクションライフル購入判定補正	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
破壊者<ディザスター>	P 傾倒	N 脅威		
樫沢周	P 好意	N 不安		
青髪の少女	P 同情	N 隔意		
催馬楽泉	P 慕情	N 隔意		
黒須牙狼	P 親近感	N 隔意		
西方ウタワ	P 憧憬	N 隔意		
オーロラ	P 好奇心	N 不信任		

最大財産P: 32    残り財産P: 13

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：モルフェウス	3	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果： C値を-1LV								
天からの眼	3	2	X/リ	-	-	対決	-	
効果： 判定ダイス+LV個								
ペネトレイト	1	3	Xジャー	-	-	対決	-	
効果： 装甲無視。判定ダイス-1個								
イエーガーマイスター	3	4	Xジャー	-	単体	対決	80%	
効果： 射撃攻撃の攻撃力+[LV*4]。R間ドッジ判定ダイス-3個。								
ワンショットツーカー	3	3	Xジャー	武器	2体	対決	-	
効果： 組み合わせた射撃攻撃の対象を2体に変更。シナリオLV回。								
黄金錬成	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 常備化ポイント+[LV*10]、侵蝕率レベルアップなし								
ストライクチップ(ユニークアイテム)	★							
効果： 詳細はアイテム欄								
贋作師	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 見たことのある物品の複製品を錬成する。見せかけの複製品であるため機能はせず、一週間ほどで土くれとなる。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

橙也。トウヤ。  
天使っぽい感じの悪魔、破壊者。  
-----  
照らされた世界は、あっという間に崩壊した。  
路地裏に群がる薄汚れた子供たち。死体なんて見慣れたものだし、腐臭はまだ生きている子供にも染み付いていた。変色した残飯ですら取り合いになっていた。それでも。そんな世界でも。笑い合えることはゼロではなかった。ふざけあってケンカして、殴り合いながら罵倒して、それから背中をくっつけて座り込む。隠し持っていた僅かな食料を互いに出し合って「ただの交換じゃねーか！」と言って笑った。そんな毎日だった。  
それが一変したのは8年前。雑な性格な割にはよく覚えてやがるなと自分でも思う。ある時路地裏に現れた蒼い髪の女は、自分を「ファルスハーツ」だと名乗った。お前たちを引き取りたい、こちらに来ればもっと楽に暮らせる、と。そんな大人からの甘言は何度も聞いたことがあった。みんなみんな金や偽善のためで、そんな大人の犠牲になって消えていった奴らがたくさんいたことは覚えている。けど、こいつは。オーヴァードは、そんな大人を殺すことができる。そう言ってきた。俺たちは顔を見合わせて、笑いながら頷いた。